

ごあいさつ



理事長 **森島 昭生**

平素より格別なご支援とご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、地域の皆さまに当金庫についてより一層のご理解をいただき、安心してお取引いただけますよう、ここに「からしんディスクロージャー誌2025」を作成いたしました。

当金庫の経営方針や2024年度の事業の概況、業務の内容、地域への貢献活動などについてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

わが国経済は、賃上げによる個人消費や企業の設備投資が増加に転じ、全体としては緩やかな回復基調を維持しています。一方、中小企業等を取り巻く経営環境は、物価上昇分を十分に価格に転嫁できていない中でも人材確保のため賃上げせざるを得ない事業所も多く、依然として厳しい状況に直面しています。こうした中、日銀がマイナス金利を解除し17年ぶりに金利がある世界に舵が切られ、今後更なる政策金利の上昇が予想されることから、資金調達コストの上昇により中小企業等は今以上に厳しい経営環境へ陥る懸念があります。当金庫においては、2024年度はエネルギー・原材料高騰などの影響を受けた小規模事業者や中小企業等に対し、資金繰り等様々な金融支援に取り組んできましたが、アメリカの関税引上げ政策の影響や更なる物価や賃金の上昇など懸念材料も多く、難しい経営課題に直面する状況が続くことから、2025年度も引続き小規模事業者や中小企業等の資金繰り支援に取り組むとともに、経営改善・企業再生や人材紹介、事業承継のほか、販路拡大、ビジネスモデルの再構築、事業承継、人材確保、DX・GX対応への伴走支援など、ソリューション提供機能の充実に努め、顧客と地域社会が抱える様々な課題解決に貢献していくことが求められています。

2025年度は、経営3か年計画『未来を拓く変革への挑戦～信用金庫の真価の発揮と地域の持続的発展を目指して～』の中間年度であり、主要施策となる「地域支援力・営業力の強化」「経営力・内部管理態勢の強化」「人材力・組織力の強化」に重点的に取り組み、協同組織の地域金融機関として、会員・地域住民の皆さま、地方公共団体をはじめとした地域の関係諸機関との連携をさらに深め、地域経済の活性化、持続的な発展に寄与すべく役職員一同全力を挙げて営業活動に努めてまいります。

なお、2025年4月に、森島昭生が理事長に就任いたしました。新たな体制のもと、引続き地域の事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズに積極的に関わり、顧客サービスの一層の向上を図り、経営の健全性の維持・向上に努めてまいりますので、何卒変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2025年7月